

# 夫婦の肖像 vol.90

坂尻利治さん・香織さん（福井市、1998年結婚）  
 ささやかでも、二人が目指すは「地域で一番」  
 人とのつながりを大事に、「一歩一歩前へ」  
 取材・文：堀 一心 撮影：北川明伸

## 人、地域との縁を大事に 2代目として奮闘中。

屋外に中古車がずらりと展示され、ガレージでは従業員が修理やタイヤ交換に汗を流す。小さいながらも明るくきれいなショールームも備えている。福井運動公園のすぐそば、「坂尻モーターズ」を営むのは社長の坂尻利治さん・香織さん夫妻だ。

「車のことなら何でもおまかせ」がモットー。夫妻を含めて従業員4人の会社ながら、修理や車検、保険の取り扱い、中古車の販売まで幅広く手掛ける。だから利治さん自らが営業から工場での作業まで何でもこなす。「社長としての出社後の最初の仕事は、こみ捨てと掃除」云々か。香織さんは保険業務など事務全般を担当する。

「とにかくお客さんを第一に考え、どんなに小さな要望にも親身になって応えるように心掛けています」と香織さん。例えば中古車探しを頼まれば、少しでも良い条件のものを手に入れるために決して妥協せず、お客に頼んで納入を



待ってもらうことも。利治さんも「それで結果的に相手が喜んでくれば、信用につながっていくんです」と力を込める。

お店のホームページには、夫妻がそれぞれ運営するブログがある。ややサボリ気味の利治さんに対して、香織さんはこまめに更新を続ける。お店のお得なイベント情報をはじめ、2人の娘たちの話題など日々の暮らしについて飾らずに綴っている。「脱線ばかりで恥ずかしいんですが……」と香織さんは話すが、記事を見てお店を訪れる新規客も少なくない。

二人は、県内の大手ディーラーの同期社員だった。利治さんは整備、香織さんは営業として1992年に入社。共に武生支社に配属された。20人ほどの同期はみんな仲が良く、飲み会や遊びに行く機会が多かった。特にワイリリングが合った二人は「気を使わないし、一緒にいてすごく楽な相手」とお互いに感じていたようだ。

当時どっぴりスキーにはまっていた香織さんが、初心者で利治さんを強引に誘ってゲレンデに出かけたのが初デート。それから二人きりで遊びに行く機会が増え、「付き合おう」の一言は無かったもののいつの間にか交際が始まっていたという。

## 一緒にだと自然で落ち着く 温かな笑顔が周囲も和ませる。

業を煮やした父親にいい加減に結婚を背中を押され、利治さんは香織さんの両親の元へ正式にあいさつに。とんとん拍子に式の日取りが決まった。二人の間には例によってプロポーズの言葉はなかったのだが「一緒にいるのが自然で楽過ぎて、空気がみえない存在になっちゃいましたね」と利治さんは振り返る。

初代社長である父親が突然引退を宣言し、32歳の利治さんが後を継いだのは結婚6年目の2004年。心構えしていたよりも数年早かったせいもあり、右も左も分からないまま資金繰りに窮し、貯金もほとんど減っていった。大変な日々は1年以上続いたが、「周りのいろんな人が助けの手を差し伸べてくれたおかげで、乗り越えることができたんです」と二人。今も人や地域とのつながりを大切に

のは、その時の感謝の気持ちを忘れていないからだ。

07年に、一念発起してショールームを新築。リーマンショック後の不況には、それまで力を入れていた四輪駆動車に代えて、燃費のいいエコカーや軽の中古車販売に重心を移すなど、臨機応変に方向転換を図ってきた。「2代目として自分の色を少しは出せているかな」。利治さんは手こたえを感じている。

一日の多くの時間をショールームで共に過ごすのが、夫妻の間には常に笑顔が絶えない。「昔と変わらず、一緒にいると落ち着くし楽しいんです」。訪れるお客がつい長居してしまうのは、二人が醸す和やかな空気があまりに心地良いせいだろう。今の目標は「地域で一番愛される店」。近道なんて無いことは分かっているから、大切な人や地域とともに誠実に一歩一歩進んでいくだけだ。

付き合ってもめない1993年、グループ旅行で訪れた神戸の異人館前で、「この頃はどこに行くにも、誰かと一緒にいたね」と二人



### Profile

#### 坂尻利治さん (41歳)

さかじり・としはる 福井市生まれ。科学技術高校、中部日本自動車整備専門学校卒。(有)坂尻モーターズ代表取締役。お客さんが持ってきてくれるお土産と、月1回ペースで仲間たちと飲む「定例会」が楽しみ

#### 坂尻香織さん (40歳)

さかじり・かおり 鯖江市生まれ。武生東高校、教習女子短期大学卒。ブログやネットを通して知り合った人たちのオフ会や女子会が趣味。あまり自分から言うことはないが「それが仕事につながることもあります」

(有)坂尻モーターズ  
 福井市若杉2丁目1531  
<http://sakajiri-m.jp/>

ガレージの壁を飾るのは先代社長が掲げた「社訓」。現会長で、まだまだご意見番としての存在感は大きい。「いつまでも甘えているんじゃない、早く踏ん張ってほしい」と利治さん